

練馬区議会議長殿

区立保育園の委託拡大に反対し、公的保育の拡充を求める陳情書

公的保育を守る練馬連絡会

代表者 竜田 修

住所 練馬区小竹町1丁目66番1号

電話 03-3957-6636

陳情項目

- 1 練馬区は既存の区立保育園の民間委託は実施しないで下さい。
- 2 子育てのための保育、予算を増額し、待機児解消のために保育園を増設してください。
- 3 私立保育園や保育室への助成金の拡充など、公的保育の拡充を図ってください。
- 4 現在の保育制度を壊す「子ども子育て新システム」の実施はやめるように国に意見を上げてください。

陳情主旨

日頃より、子どもたちの健やかな成長と発達を守るためご尽力頂きまして、心よりお礼を申し上げます。

国は平成22年6月にこれからの保育システムとして、これまでの日本の保育制度をなくして新たに「子ども子育て新システム」を提案しました。このシステムは国民が必要とする保育を国が保障する制度から国民自らが必要な保育を自己負担で利用するシステムに変えるものです。このシステムの導入に先立って、国はさまざまな保育の最低基準を緩和してきました。人員配置、給食の外部搬入の緩和など子どもの成長を保障し、安全、安心を守るために必要な基準を下げしてきました。そして総仕上げとして今回の新システム導入はすべての保育の形を崩し、保育を完全に商品化するものです。このようなシステムの導入は断固として反対するものです。また、新たに検討されている保育室の広さの基準を緩和し子どもの詰め込みが予想される規制緩和には反対します。

私たちはこれまで、練馬区が行ってきた既存の区立保育園の民間委託に反対してきました。

少子化が進行する中で区立保育園は地域の子育て支援のセンターとしての役割がますます求められています。今こそ練馬区は区民の声を聞き、練馬で育つ子どもたちが明るく健やかな発達を保障するための保育を受けられるよう、安心して利用することができる公的保育制度の拡充に力を注いで戴きたく思います。以上の理由により、現在の保育の民間委託計画を撤回し、将来の保育ビジョンを区民とともに検討されるよう強く要望するものです。

氏名	住所	印